※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾文化	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	服飾文化（実教出版　文部科学省著作教科書）						
副教材等	実習教材、プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇服飾の変遷と文化，着装など関心をもち、積極的に取り組みましょう
・様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、服飾文化の伝承と想像を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
（１）服飾の変遷と文化、着装などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）服飾文化に関する課題を発見し、服飾文化の伝承と想像を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）豊かな衣生活の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と想像に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服がその土地の気候，風土，生活スタイル等の文化や各時代の歴史的背景とかかわりながらどのように変遷してきたかを理解し，洋服や和服の基本的な着装の知識と技術を身につけている。	服飾に関する基礎的な知識と技術を基に，服飾文化を伝承するとともに，新たな発想で服飾文化を創造し、表現する	服飾文化に関する基礎的な知識と技術を基に，日本の服飾文化を伝承するとともに，新たな発想で服飾文化を創造する能力と実践的な態度を育てる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	服飾の変遷と文化	○　被服の起源と基本型 ○　日本の服飾 ○　世界の服飾	a：服飾の変遷と文化ついて理解し、必要な知識、選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b：服飾の変遷と文化から、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断している。 c：服飾の変遷と文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
後期	着装	○着装の基本 ○　洋服の着装 ○　和服の着装	a：着用目的と場所等に応じた着装の基本、社会生活上の着装のマナーを理解する。 b：基本となる起居動作やマナー，トータルコーディネートについて，自ら着こなしの工夫をしながらファッションショーなどで表現できるようにする。 c：服飾の変遷と文化関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート発表 自己評価　等
	服飾文化の伝承と創造	○服飾文化の伝承と創造 ○個人発表 ○グループ発表	a：服飾の変遷と文化ついて理解し、必要な知識、選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b：個人やグループで適切な課題を設定し、創意工夫した服飾を判断表現している。 c：服飾の変遷と文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度